

海のプロフェッショナルへ

— 船舶技官という選択 —

○ 船舶検査官

「現場の最前線で“安全”を見極める。」

造船所や港で、専門知識を武器に船の安全と海洋汚染から海を守る。日本の海事を守る要の仕事です。

○○○

○ 船舶測度官

「測るのは船の大きさ、支えるのは海の仕組み。」

国際条約や国内法令で、船舶の安全、海洋環境、税制の基準となる極めて重要な指標。船の“価値”と“責任”を決める縁の下のプロフェッショナル

○○○

○ 外国船舶監督官

「世界の船に、日本の信頼を。」

港で外国船の安全基準適合性をチェック。語学力と技術力で世界と向き合うプロフェッショナル。

詳しい業務内容は以下のQRコードのリンクからご確認いただけます。



業務紹介パンフレット
～海事技術行政について～

安全は、現場で守る
船舶検査官

海の仕組みを支える
船舶測度官

世界と向き合い、海を守る
外国船舶監督官



船舶検査官、船舶測度官の日々の業務が
左のQRコードのリンクから閲覧できます。

出典：海と船の情報ポータルサイト「海ココ」
SEA-GOTO ～海のシゴト ガイドブック～より

「海を支える、3つの技術のチカラ。」

- 船の安全を守る船舶検査官
- 海の仕組みを支える船舶測度官
- 世界と向き合い海を守る外国船舶監督官

それぞれの専門性が日本と世界の海をつなぎ
船舶の安全運航と秩序を守っています。

船舶、機械、電気、そして語学...

あなたの“好き”と“得意”を、国家の現場で
活かしませんか？

海と技術に挑む。

国家公務員 技術職・船舶技官、募集中。

主な経歴

入省後、船舶検査官、船舶測度官として現場経験を積み、本省係長時代には国際的な調和を図るため測度ルールを改正。機会に恵まれ3年間スペインで在外公館勤務を経験。帰国後は2度目の本省勤務(整備不正の是正を担当)を経て、東京支局ではドイツ建造の大型クルーズ船「飛鳥 III」の検査に携わる。現在、船舶検査に加え地方で唯一の船舶測度サテライト組織の責任者に任命される。



近畿運輸局 海上安全環境部
首席海事技術専門官(船舶検査官)(総括役)
船舶技官 昭和63年入省